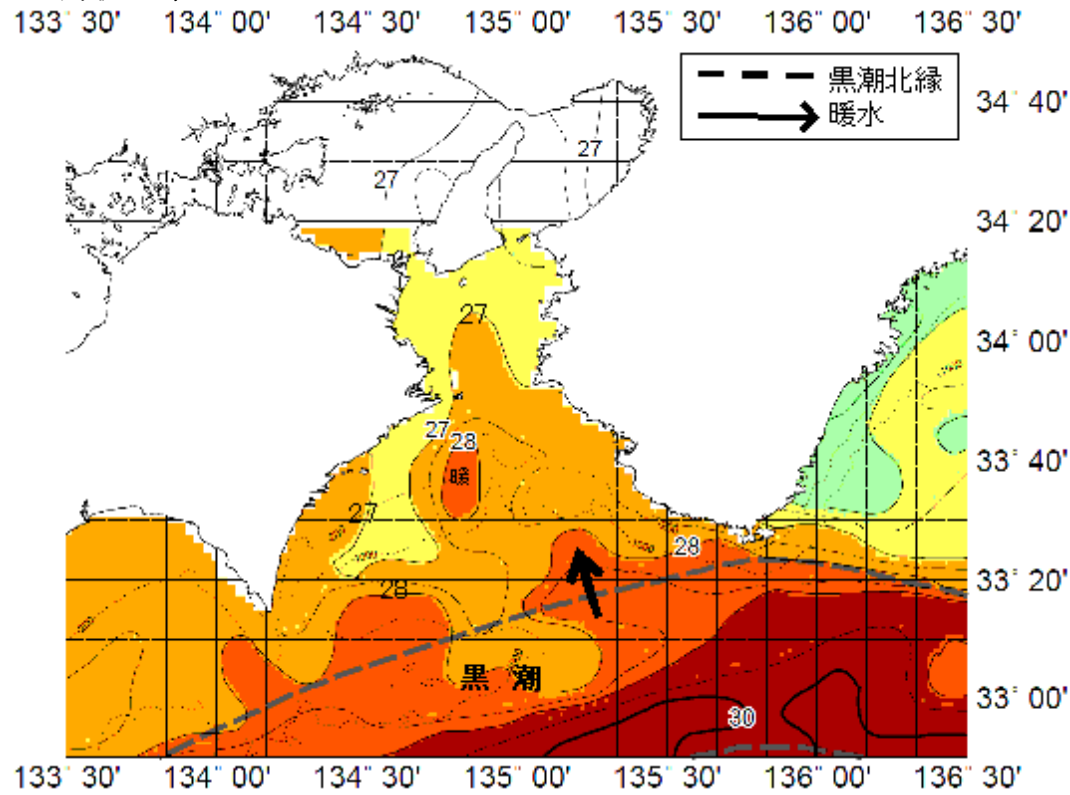


1. 海況の経過



海況

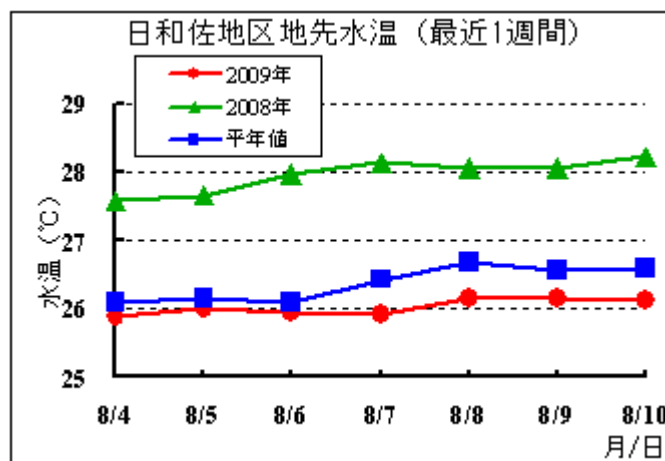
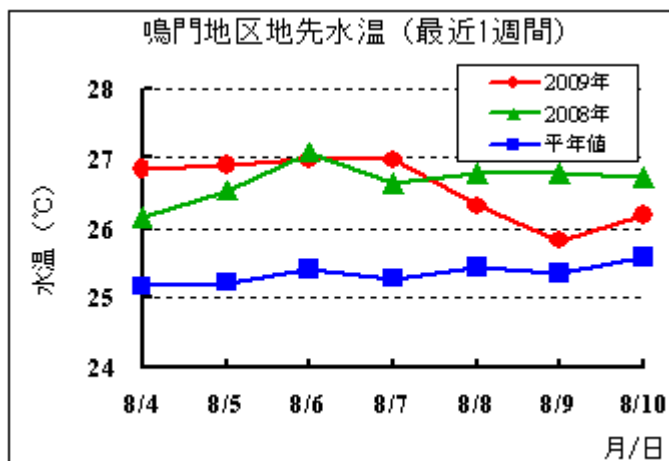
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.8.10)を示した。黒潮は、室戸岬沖・潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬及び足摺岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は27～30℃台である。表面水温は播磨灘が26～27℃台、紀伊水道が27℃台、紀伊水道外域は27～28℃台である。先週、黒潮系暖水が潮岬付近から蒲生田岬付近へ流入した影響で、黒潮系暖水の先端は紀伊水道内に達している。紀伊水道外域中央部では、流入していた黒潮系暖水から切り離された28℃の暖水域が形成されている。海況図から、この暖水域は黒潮系暖水の流入が弱くなったため紀伊水道外域中央部に残り残されたとみられる。漁業調査船「とくしま」が8月8日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層では「平年並み」の26.5℃、10～30m層では「やや高め」の23.2～25.6℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2009/8/8)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	26.5	25.6	24.4	23.2	今年値	32.1	32.2	32.4	32.6
平年偏差	0.4	1.1	0.7	0.5	平年偏差	0.7	0.6	0.7	0.8
前年偏差	-1.6	-0.2	-0.4	-0.9	前年偏差	0.0	0.0	0.2	0.4

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の25.8～27.0℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の25.9～26.2℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の26.0～27.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

海部沿岸は、台風による波浪の影響を受け出漁日数が少なかった。

釣り:海部沿岸で、大主体にアカムツが0.2トン(1日1隻当たり16kg)、マルソウダが0.2トン(同21kg)、海部沖合で、特大主体にカツオが1.3トン(同217kg)、大主体にキハダが0.8トン(同275kg)、紀伊水道で、小主体にサワラが0.6トン(同33kg)、特大主体にタチウオが1.4トン(同26kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが99.0トン(同600kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 8月3日～8月9日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
釣り	海部沿岸	アカムツ	14	220	16	大主体
		マルソウダ	11	234	21	
	海部沖合	カツオ	6	1,302	217	特大主体
		キハダ	3	824	275	大主体
	紀伊水道	サワラ	19	632	33	小主体
		タチウオ	55	1,446	26	特大主体
パッチ網		シラス	165	99,000	600	

週間予報:

黒潮は、室戸岬及び潮岬で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は、「平年並み」の26℃台、日和佐地先は「低め」～「やや低め」の26℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県では、ひき縄でカツオ1.2トン(1日1隻あたり12kg)、定置網でマアジ0.3トン(同42kg)、釣りでスルメ2.5トン(同20kg)、サバ0.4トン(同3kg)、タチウオ0.5トン(同4kg)、イサキ4.0トン(同32kg)、マルアジ0.3トン(同2kg)、パッチ網でシラス7.0トン(同115kg)が水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上